

社会医療法人愛生会

上飯田クリニック



上飯田クリニック

院長 三浦 直人

➤ 特徴

当院は血液透析を専門とする透析クリニックであり、患者さまに「より安全でより快適な透析生活」を提供することを目指しています。透析コンソール42台を備え、以下の4つの透析コースを実施しています。

午前コース：(月・水・金) (火・木・土)

午後コース：(火・木・土) ※2023年6月新規開始

夜間コース：(月・水・金)

また、隣接する総合上飯田第一病院の腎臓内科外来・腎センターをはじめ、他の医療機関と密接に連携し、包括的な腎疾患医療の提供に努めています。

・透析療法

腎臓の機能が10%以下になると、腎臓の働きを代替するために透析療法が必要となります。透析には、血液透析 (HD)、血液ろ過透析 (HDF)、腹膜透析 (PD) がありますが、当院では HD および HDF を提供しています。

・血液透析 (HD)

血液を人工臓器 (ダイアライザー) に循環させ、体内の不要な老廃物や水分を除去し、電解質のバランスを調整します。

・血液ろ過透析 (HDF)

HDF にはいくつかの種類がありますが、当院ではオンライン HDF を採用しています。オンライン HDF は、透析液を補液として使用し、通常の HDF よりも多くの補液を用いることで、より多くの老廃物を効率的に除去できるという特長があります。

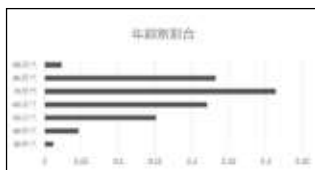
➤ 今後の目標

・当院では、さらなる医療の質向上と患者さまの生活の質の向上を目指し、以下の取り組みを推進していきます。

- ・質の高い医療の提供
- ・患者サービスの強化 (無料送迎・施設環境の充実)
- ・透析中リハビリテーションの充実 (体力測定・体組成測定の導入)
- ・地域連携の推進・強化 (患者さまの生活支援)
- ・感染症対策の徹底
- ・在宅療養支援の拡充・強化

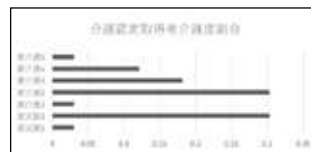
今後も、患者さまが安心して透析を受けられる環境づくりを進め、地域医療への貢献を果たしてまいります。

【クリニック通院患者の概要】



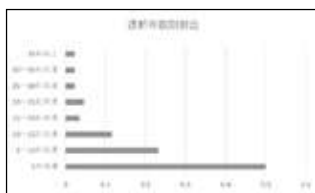
・年齢構成は、最年少39歳から最高齢91歳。
 ・平均年齢は69.9歳。60歳以上は全体の約7割、70歳以上は約5割を占めている。
 ・男女比は 約男7割：女3割

年齢	構成比 %
30歳代	1.2
40歳代	4.7
50歳代	15.1
60歳代	22.1
70歳代	31.4
80歳代	23.3
90歳代	2.3



・要支援の認定を受けている方は全体の約3割
 ・要介護の認定を受けている方の中では 要介護2がほぼ5割を占めている

介護度	人数
要支援1	3.0
要支援2	30.3
要介護1	3.0
要介護2	30.3
要介護3	18.2
要介護4	12.1
要介護5	3.0



・透析年数10年未満の方が約7割を占めている。最長は38年。

通院期間(透析年数)	構成比 %
5年未満	50.0
5～10年未満	23.3
10～15年未満	11.6
15～20年未満	3.5
20～25年未満	4.7
25～30年未満	2.3
30～35年未満	2.3
35年以上	3.3

看護部

上飯田クリニック看護部 澤田 里美

特徴

・看護の理念

愛生会の理念「信頼され愛される病院」に基づいて患者さまに寄り添い、看護師として責任を持って最善の看護に努めていきます。

より安全で安心して透析治療を受けていただくことができるよう一人ひとりと向き合い、その人にあった支援・指導を心がけています。

元気に通院、生活できるようにサポートしていきます。

今後の目標

- ・各事業所、各部署とスムーズに連携をとり情報の共有を徹底し、安心・安全な看護・医療を行います。
- ・おののかが自己啓発に努め、看護力の向上を目指します。
- ・ASOの対策を強化し、早期発見・早期治療に努めます。

専門医資格一覧

三浦 直人 院長

【認定医】日本内科学会 認定内科医
 【専門医】日本内科学会 総合内科専門医
 日本腎臓学会 腎臓専門医
 【評議員】日本腎臓学会 評議員
 【指導医】日本腎臓学会 指導医

加藤 優 名誉院長

【専門医】日本透析医学会 専門医